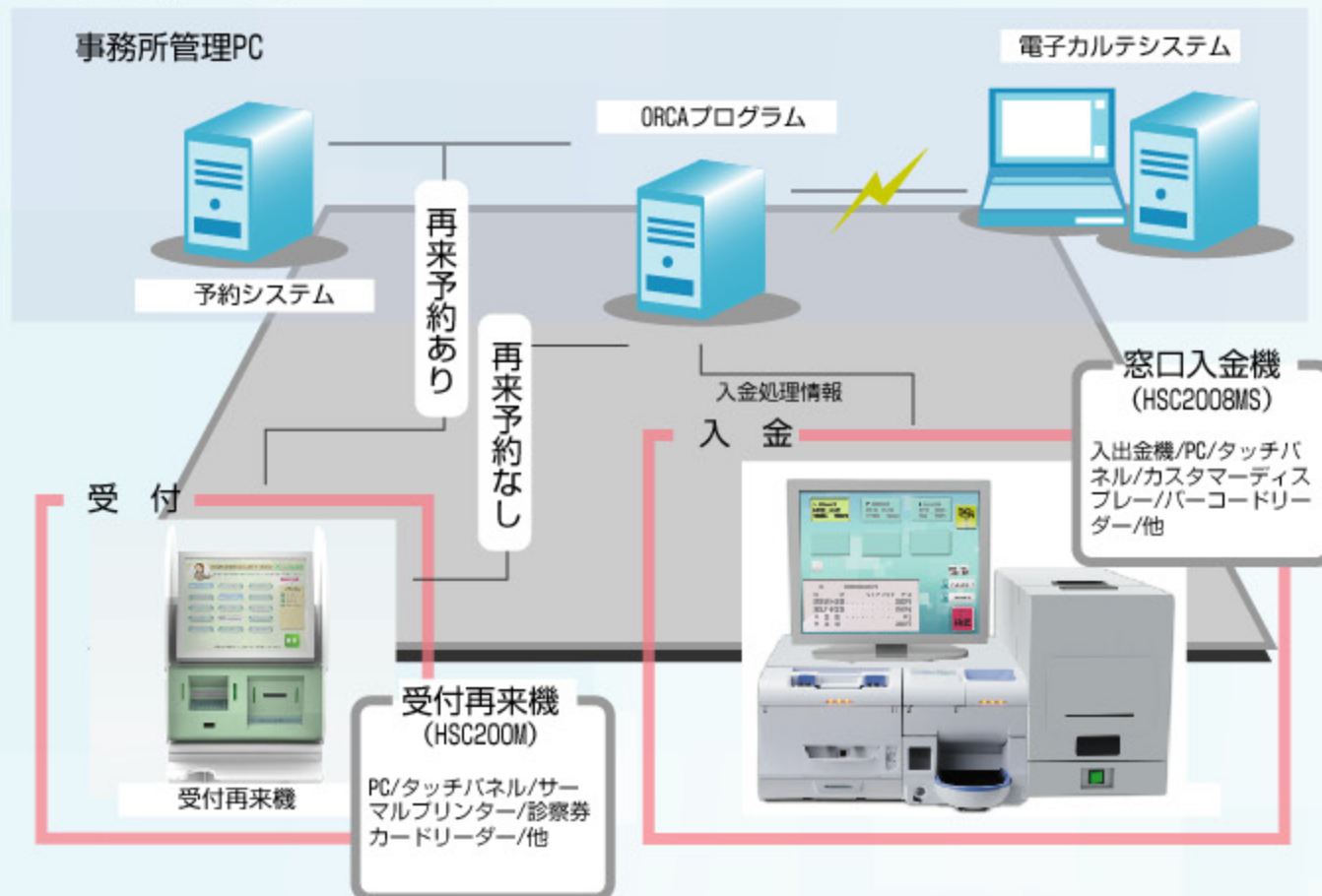


■ 運用イメージ図



医療系窓口会計システム

MEDIPOINT2100

Automation System For CLINIC

日医標準レセプトORCA対応

■ 標準スペック HCS-2008MS

項目	仕様
表示・操作部	17インチTFTカラータッチパネル
リーダ部	各種メディア (ICカード・磁気カード・バーコード他) 対応
現金処理部 (紙幣)	取扱金種
	【入金時】 4金種 (1万円 5千円 2千円 1千円) 【出金時】 3金種 (1万円 5千円 1千円)
現金処理部 (紙幣)	収納枚数
	1万円 100枚 (選流)
	5千円 100枚 (選流)
	1千円 300枚 (選流)
回収カセット	300枚
現金処理部 (硬貨)	取扱金種
	【入金時】 6金種 (500円 100円 50円 10円 5円 1円) 【出金時】 6金種 (500円 100円 50円 10円 5円 1円)
現金処理部 (硬貨)	収納枚数
	500円 100枚 (選流)
	100円 170枚 (選流)
	50円 120枚 (選流)
	10円 170枚 (選流)
5円 120枚 (選流)	
1円 170枚 (選流)	
出力プリンタ	ラインサーマルプリンタ、レーザープリンタ (オプション) (高さ) 220× (巾) 450× (奥行) 580
外形寸法 (mm)	*金銭部サイズのみ突起部、PC、カードリーダは含まず
電源	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	Max 200W、通常稼働時 100から 150W

■ 標準スペック HCS-200M

項目	仕様
表示・操作部	17インチTFTカラータッチパネル
リーダ部	各種メディア (ICカード・磁気カード・バーコード他) 対応
出力プリンタ	ラインサーマルプリンタ (80mmまたは112mmを選択)
外形寸法 (mm)	(高さ) 430× (巾) 550× (奥行) 500 *タッチパネルを最大仰角にした場合
電源	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	Max 150W、通常稼働時 100W

- ・本製品は室内利用を想定とし、できるだけこの少ない場所への設置をお願しております。
- ・精密機械のためお客様に日常的なメンテナンス、クリーニングをお願いしております。
- ・保守契約は1年更新、原則年払い、導入後の2ヶ月以内に契約を締結いただけますようお願いいたします。
- ・ハードウェアの稼働日から8年以上経過した時点で、引き続き本システムをご使用の場合は、保守料を別途協議の上変更させていただきます。
- ・本製品が外国産及び外国産品に該当する場合は、日本国外に輸出する前に日本政府の許可が必要となります。
- ・プリンタはレーザープリンタまたはサーマルプリンタを使用することを前提としており、各種フォーマット作成はオプション対応となります。
- ・診療明細を発行するには別途プログラム変更料が発生します。(オプション)
- ・電子カルテ、予約システムとの連携するには別途プログラム変更料が発生します。(オプション)



株式会社ハイブリッド

本社
〒104-0032
東京都中央区八丁堀三丁目13番8号 トリヤスビル7階
TEL 03-3551-2921 FAX 03-3551-1894

事業所 (西日本事務所)
〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原一丁目17番28号 第2アーバンズ新大阪1001
TEL 06-6395-9588 FAX 06-6395-9580

日医標準レセプトORCAの性能を100%引き出し 受付から会計までの処理を医療会計システムMEDIPORTが 完全サポート

ORCAシステムとの連動

ORCAプログラムと金銭処理端末をつなぐことで締め処理、伝票処理、事務処理のスムーズな運用一元化を可能にします。再来受付機、予約システムなど様々なオプションシステムと接続ができる拡張性も最大のメリットです。

操作のやさしさ

対面の金銭受け渡し業務、事務処理が劇的に効率化し、患者対応に余裕が生まれます。シンプルなインターフェイスでやさしい操作で高速現金処理を可能にし、プロセスを機械化することで精算の集中する時間帯でも患者様をお待たせしません。

安全性の確保

偽札の判別、読み取りの正確性は業界No.1。最新の技術を採用しています。緊急時、トラブル時も警報やランプでお知らせします。回収ボックスにより現金にふれることなく売上金の回収が可能ですので、アルバイトや新人スタッフでも安心して締め処理を任せられます。

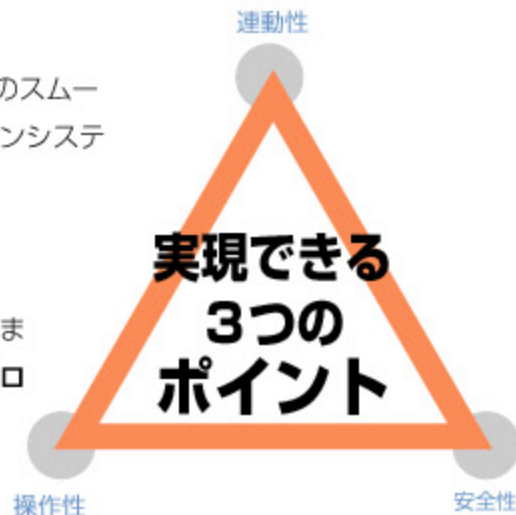
日医標準レセプトソフト「ORCA」システムとPOSレジタイプの会計システムが連動 医療会計事務が大きく変わります。

ハイブリッドの医療会計システム「MEDIPORT2100」医療の現場に必要な金銭処理機能をすべて兼ね備えた医療特化型システムです。特に1日200人以下の小規模病院やクリニックの煩雑な会計処理、保険事務処理の円滑化にお役立ていただくために開発されました。Windowsだけではなく、Linuxのシステムとも接続が可能です。会計プログラムに接続された日医標準レセプトORCAと「MEDIPORT2100」接続することで未収金情報も即座に確認し、窓口の会計処理に反映されます。もちろん電子カルテとの連携も可能です。

運用にあわせたカスタマイズで 理想のクリニックづくりを実現します。

初めての導入施設でも規模、外来患者数、処理数を分析し、環境とニーズにあったプログラム設計をします。既存の運用にあわせバーコードリーダーでの診察券、受付票の読み取りや書き込み、クレジットシステムの導入も可能です。

タッチパネルのカスタマイズは現場スタッフの声を反映させながら、ユーザーインターフェイスの仕組み、デザインなどの導入設計を行います。

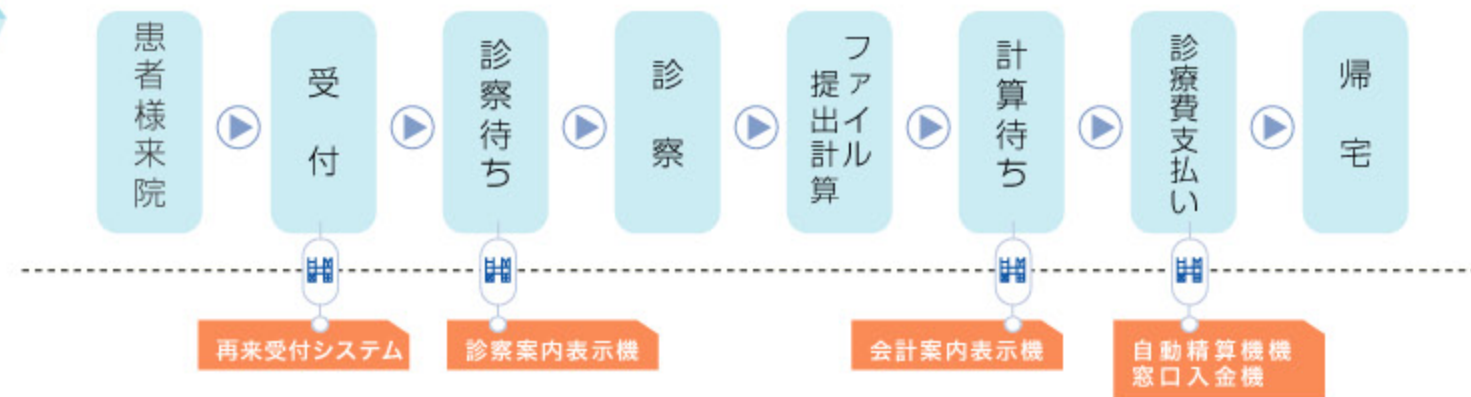


やさしい機械操作は働く方の視点に立って 開発されています

操作ストレスがなくどなたでも操作できますので、忙しい時間帯でもミスが起こりにくく、処理スピードも向上します。

対面の金銭受け渡し、計算業務はクラーク業務の中で最も煩雑で、大切な仕事です。医療会計システム「MEDIPORT2100」の導入は、ヒューマンエラーを防ぐだけでなく、クラーク業務に余裕が生まれ、患者様へのサービス向上にもお役立ていただけます。「お金を触るストレス」から開放され笑顔で対応することができます。

医療事務クラークの人材の確保は病院の根幹経営に関わります。同時に窓口スタッフが頻りに変わるクリニックは患者様にとっても不安なことです。お金を扱うストレスを軽減し、締め処理、書類処理を効率化し残業がなくなることで、間接的に人材定着率の向上にお役立ていただけるのも大きなメリットです。



入出金は業界最速の処理スピードと正確性 会計待ちの時間が短縮されます

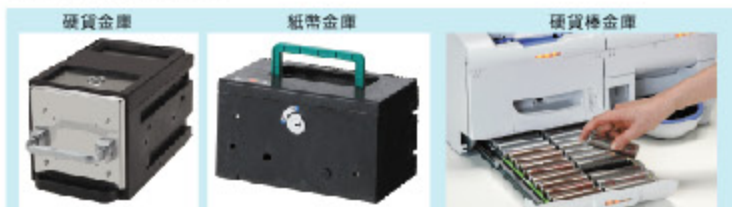
医療会計システム「MEDIPORT2100」標準で、一万円、五千円の各紙幣約100枚、千円の紙幣約300枚の大収容量。硬貨ユニットも処理頻度の高い百円硬貨、十円硬貨それぞれ最大170枚、収納つり銭補充頻度を最大限、軽減することのできる収容量を装備します。

また不正紙幣・不正硬貨の判別も業界随一の精度を誇り、混合状態の紙幣を1秒間約3枚のスピードで読み取り、9,000円を約3秒で投出します。硬貨も1秒間約6枚のスピードで読み取り、約2秒で999円を高速で払い出します。スピーディーな入出金で患者様をお待たせすることはありません。紙幣を投入しやすい短手投入方式を採用、紙幣・硬貨の各入金口に投入するだけで機械が識別して金種別に収納します。トラブル時は警告ランプ表示によってお知らせし、操作ガイダンスが解決の手順を教えてください。機外から張り出した硬貨出口で釣り銭の取り忘れ、渡し忘れも防ぎます



点検業務、締め処理を機械化して 作業の負担軽減、事務処理残業をなくします

回収・補充の手間を軽減するため収納の大容量化、紙幣・硬貨のリサイクル機能を搭載。残量が少なくなるとアラートでお知らせします。取引ごとORCAデータと現金を自動照合し、売上データは常に一致、締め作業がスムーズに行えます。紙幣は鍵付の回収力セットに収納され回収・運搬ができます。



再来受付機、案内表示システムとの 組み合わせでトータルなソリューションを実現

再来受付、診察案内表示、会計案内表示の各オプションシステムは来院者に的確に情報を伝え、スムーズな誘導を行うことにより、待合ストレスを軽減します。医療会計システム「MEDIPORT2100」は拡張性も高く、様々なオプションサービスがご提供できます。ご要望に合わせてアイデアを形にします。保守やメンテナンスメニューもご要望にあわせ多数ご用意がありますのでご相談ください。



導入クリニック様の声

医療法人社団ナイス 理事長
キャップクリニック代官山IT-SITE 院長
白岡 亮平様



地域で暮らす患者さんの立場になり、一次医療の役割を的確に果たすためキャップクリニックは各方面の方々のお力添えをいただき「朝から夜遅くまで365日、年中無休で診療を行うクリニック」として現在都内3ヶ所で稼働中です。

キャップクリニックでは患者さんとのコミュニケーションを重要視しています。高い医療技術を有している、患者さんに伝わらなければ医療ではないと考えているからです。症状もさまざまなら、患者さんもさまざまです。それぞれの背景を理解する社会性や人の気持ちが分かる共感性がなければ良い医療は提供できません。他のサービス業と多少異なる部分はありますが、医療の現場においても時代のニーズに対応することが必要だと考えています。

医師だけでなく、看護師・医療クラークたちにも同様のスタンスで仕事をしていただいています。看護師は通常、診察の介助がメインで、患者さんと話すこと自体多くはありません。しかしキャップでは患者さんの心のケアを大事にしているため、看護師にどんどん患者さんと接して、声がけをしてもらっています。また医療クラークが助手として機能してくれるので、看護業務に特化でき、看護の本質である「生活に根差したケア」を実践できるのです。キャッ

プクリニックでは、看護師、医療クラークの担っている役割が他のクリニックに比べ大きいのです。ハイブリッド社の金銭処理システム「MEDIPORT」の導入を決めた大きな理由は「難しい顔をしながらお金を数えるのではなく、患者さんと笑顔で向き合っていたい」からです。私自身もお金や伝票を扱っているクラークには声をかけづらかったりしますから…(笑)

閉院時間が遅いので締め処理や会計事務で長時間の残業はさせられません。その点ORCAシステムにダイレクトにつながる「MEDIPORT」は一括で現金を回収し、金庫に入れるだけです。未収金の処理もORCA側で完了しています。

他の機械と比べたわけではありませんが、出金や入金処理速度も非常に速いとクラークからも好評です。医療クラークとして患者さんと向き合っている「特化した仕事」をしてもらうために金銭処理システムは私共のクリニックには欠かせないものになっています。